

ひと・まち・みどりを未来へつなぐ

板橋区

板橋区制施行80周年記念誌



ITABASHI



板橋区制施行80周年

●80周年マーク
区の鳥「ハクセキレイ」・区の花「ニリンソウ」・
区の木「ケヤキ」をモチーフとしています



●オフィシャルロゴ
「つなぐ」(橋を渡す)がテーマ。円をつなぐスタイルは斬新で、
“未来へ発信する板橋区”を印象づけ、
進取の気概で区政経営に取り組んでいく姿勢を表現しています

板橋区制施行80周年記念誌 平成24年10月 発行
発行/板橋区政策経営部広聴広報課 〒173-8501東京都板橋区板橋二丁目66番1号 電話 03(3579)2025
制作/株式会社ドーンデザイン研究所
刊行物番号 24-80

●イラストレーション/水戸岡 鋭治 + ドーンデザイン研究所 イラストの無断転載を固く禁じます。



板橋区長
坂本 健

昭和7年10月1日に板橋区が誕生し、
本年、区制施行80周年を迎えました。
板橋区は、今や人口約53万人を擁する
生活都市であり、歴史と新しい時代の
息吹が調和を奏する魅力あるまちで
す。区内には、区名の由来ともされる、
旧中山道の石神井川に架かる「板橋」を
はじめ、数多くの有形・無形の文化財が
今も息づき、地域に共通のよすがとなっ
て彩りと潤いをもたらしています。ま
た、賑いある商店街を中心とする商業、
緑豊かな赤塚地域における都市農業、
荒川沿岸部などの活力ある工業は、新
しい価値を創造し続けています。
私たちには、先人が築き上げてきた
歴史ある郷土に誇りを持ち、次代に引
き継いでいく責務があります。これか
ら、あたたかい心の絆によって結ばれ
自治の精神に溢れるまち、いつまでも
安心して住み続けられるまち「いたば
し」をめざし、区民のみなさまとともに
力を合わせて取り組んでまいります。

平成24年10月1日

記念誌刊行にあたって

●目次

記念誌刊行にあたって

板橋の歴史とシンボル
板橋宿

4

国指定重要無形民俗文化財
田遊び

6

板橋の商業
賑わい

8

板橋の産業
技術力

9

板橋のビッグイベント
心躍る

10

未来へつなぐ
住みやすいまちづくり
都市との交流

12

みどころマップ

14

対談
伝統と新しさ
心地よさを感じる
豊かなまち板橋

16

年表
板橋区80年のあゆみ

18

データ
数字で見る板橋区

22



区の花「ニンジンソウ」



区の木「ケヤキ」



区の鳥「ハクセキレイ」



区の紋章

板橋宿



縁切榎／江戸時代から板橋宿の名所として名高く、悪縁は切ってくれるが良縁は結んでくれると、庶民の信仰を集めていた。



石神井川の桜



文殊院／1600年頃に創建された真言宗寺院
板橋宿本陣を務めた飯田家の菩提寺



現在の板橋

距日本橋から二里二十五町三十三間
日本橋から十軒六百四十二米

「板橋十景」にも選ばれるように、区内を代表する桜の名所となっています。

石神井川の桜並木

歴史の舞台となった「板橋」の下を流れる石神井川の両岸には、昭和9年以降、中板橋から加賀付近にかけて、約千本の桜の木が植えられています。花見の頃は、ソメイヨシノを中心にヤマザクラやオオシマザクラなどが咲き誇り、

現在、かつての宿場町は商店街に姿を変え、にぎわいを見せる中、周辺には多くの名所・史跡が残されており、歴史の面影にふれることができます。

昭和7年、「板橋」はコンクリート製の橋に架け替えられ、同年10月の板橋区誕生に花を添えました。

このように板橋宿は、江戸時代を通じて北陸・中山道方面の交通の要所、江戸の玄関口として、活況を呈していました。

「板橋」は、石神井川に架かる旧中山道の橋であり、江戸時代当時は、長さ9間(16.2メートル)、幅3間(5.4メートル)の大鼓橋でした。

この「板橋」を往来したのは、文政4年(1821年)の時点では、加賀藩前田家をはじめ、9か国41大名であり、幕末動乱期の文久元年(1861年)の皇女和宮の降嫁行列も最後に板橋宿に宿泊しています。

このように板橋宿は、江戸時代を通じて北陸・中山道方面の交通の要所、江戸の玄関口として、活況を呈していました。

板橋宿の面影

徳川幕府により中山道第一番目の宿場町として設置された板橋宿は、上宿・中宿(現在の仲宿・平尾宿の3つの宿場からなり、天保年間(1830～1844年)の時点では、本陣は中宿に1軒、脇本陣は各宿の名主が兼帯し、旅籠は54軒ありました。宿場名や区名の由来となったともいわれています。

中山道第一番目の宿場町として発展

日本橋から二里二十五町三十三間



「木曾街道板橋之駅」英泉画 現在のJR板橋駅付近



昭和初期の板橋

昭和



大正時代の板橋

大正



明治8年頃の板橋

明治



江戸時代の板橋

江戸



千年の歴史

田遊び

近郊農村として発展してきた赤塚・徳丸地区には、旧正月にその年の五穀豊穡と子孫繁栄を祈願する神事が千年の昔から受け継がれています。「田遊び」は、赤塚諏訪神社と徳丸北野神社で行われ、ともに国の重要無形民俗文化財に指定されています。



徳丸北野神社

徳丸の田遊びも赤塚と同様に、主導役の「大稲本」、補佐役の「小稲本」と「鉦取り」が構成員となっています。また、その創始以来一年も休むことなく執り行われてきたといわれており、水田が姿を消した今も、昔と変わらずに五穀豊穡・子孫繁栄を祈願する田遊びが継承されています。

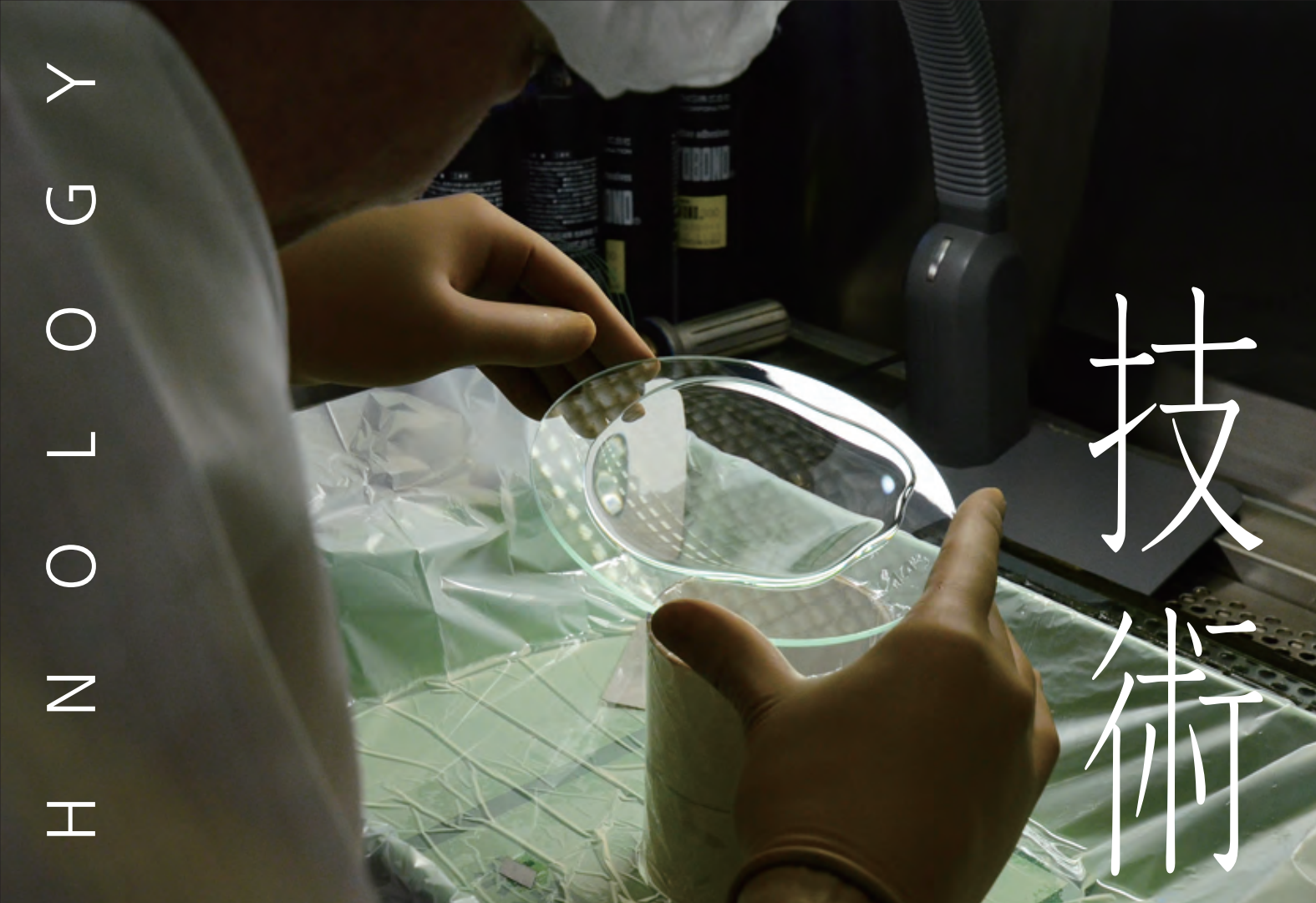
徳丸北野神社の田遊び
毎年2月11日(旧暦正月11日)の夜6時頃から、徳丸六丁目に所在する北野神社で行われます。
長徳元年(995年)、天満宮(現、徳丸北野神社)創建の時に、奉祝行事として地元の田夫(農夫)が「田阿曾美之祭(たあそびまつり)」を行ったのが起源とされています。



赤塚諏訪神社

赤塚の田遊びは、田遊びを主導する「大稲本」と補佐役の「小稲本」、「鉦取り」が構成員となっており、所作をはじめ、笛の演奏なども口伝によって今日まで伝承されています。今でも大門地域の人々によって昔と同様に五穀豊穡や子孫繁栄を祈願して行われています。

赤塚諏訪神社の田遊び
毎年2月13日(旧暦正月13日)の夜7時頃から、大門に所在する諏訪神社境内および境外地で行われます。
その創始の時期については不詳ですが、江戸時代の記録の中には、大昔から行われ、古風が失われていない祭礼と紹介されています。



技術

光学／光学ガラスに機能性フィルムを接着し偏光板などの光学フィルターを製造中

現在では、光学・精密機器産業と、高度経済成長期に伸びてきた印刷業が、板橋区の地場産業として挙げられ、国内をはじめ海外シェアにおいてトップクラスの企業が数多く、最先端の技術と品質を誇っています。

板橋区は、全国でも有数の工業集積地域です。23区内では、製造品出荷額等が第1位、従業員数が第2位となっています。板橋区の工業化は、明治9年に建設された板橋火薬製造所から始まり、戦時体制のもと軍需工場が集積。戦後、その技術者たちが区内で数多くの工場を立ち上げました。特に光学機器の工場が多く、圧倒的な製造力・技術力で、昭和37年と38年の日本の光学機器輸出額の70パーセントを板橋区で製造していました。

世界でもトップクラスの技術を誇る光学・精密機器と製造品出荷額、全国一の印刷業

力



製品技術大賞

区内中小企業の優れた新製品や新技術を表彰する制度。平成23年度最優秀賞には、国産初の機能が搭載された天体撮影用望遠鏡が選ばれました。



産業見本市

受発注活性化を目的に、区内製造業を中心とした企業が出展する産業展示会で、今年16回を数えます。製品・技術の展示、セミナーなど、自治体単独での開催としては、23区で有数の規模を誇ります。



印刷業

印刷関連業は、全国一の製造品出荷額（平成20年 工業統計調査）を誇り、区内工業の中でも事業所数、従業員数、製造品出荷額等、付加価値額ともに高い割合を占める地場産業です。



光学精密

「光学の板橋区」といわれるほど、高度経済成長を支える原動力となっていました。現在でもカメラや測量機器、各種センサーなど光学・精密機器産業の工場や研究施設をはじめ、本社・本店が多くあります。



賑わ

Happy Road 大山商店街／アーケードは全長約540メートルで全国屈指のにぎわいをみせる

賑わいと活気あふれる商店街魅力ある板橋のいっぴんなど商店の活力が街を元気にします

いい

板橋区内には、1000もの商店街があり、特色ある取り組みやイベントが繰り返り広げられ、にぎわいと活気にあふれています。

交流都市のアンテナショップ「とれたて村」や、田中山道の「縁切榎」から「むすびのけやき」までの9商店街でおみくじを引きながら、旧板橋宿を散策できる「板橋縁宿」など、商店街の活性化と新たな魅力を創出する取り組みも活発です。

また、地元で愛され親しまれているお惣菜・お菓子・お酒などを、区民から募集し、公募委員による選定委員会の審査を経て「区民が選んだ板橋のいっぴん」として認定されています。どれも作り手の創意工夫と温もりにあふれた板橋の魅力といえる「逸品」で、現在、74品が認定されています。



板橋お伝え最中

「区民が選んだ板橋のいっぴん」の一つで、区内にある8店舗の和菓子屋さんでつく「板橋和趣会」が開発したものです。板橋に伝わる昔話のキャラクターをモチーフにデザインしています。



とれたて村

交流自治体の新鮮野菜や特産品がずらりと並ぶとれたて村。現在、Happy Road 大山商店街と上板南口銀座商店街の2店舗。交流自治体が入り替わりでまちの宣伝にやってくる週末の「ふる里イベント」は好評です。



MARATHON



花火競演

心躍る



都内屈指の花火大会やマラソン
板橋らしさと活気に満ちたまつりなど自慢の催事

板橋Cityマラソン

自然豊かな荒川河川敷で、日本全国から集まった約1万4千人のランナーが健脚を競う市民参加型のフルマラソン大会です。制限時間が7時間とたっぷりあり、コースもアップ・ダウンが少ないことから、初心者にもやさしい大会として多くのランナーに親しまれています。
※3月中旬開催



板橋区民まつり

元気で活力あるまちの実現をめざして開催される、区内最大のまつりです。グリーンホール周辺を中心に、神輿や阿波踊り、区民や交流都市のみなさまによる踊りなどが華やかに行われ、周辺の各会場では物産展など多くの人を楽しませています。
※10月中旬開催

板橋農業まつり

農業まつりは、板橋に残る農業の姿を知ってもらい、1年の収穫を盛大に祝おうと開催しています。まつりのオープニングでは、重さ約1.5トンの野菜を満載にした名物の「野菜宝船」が登場し、地元の小中学生や農家の人々が宝船を引いてパレードします。
※11月中旬開催



いたばし花火大会

対岸の戸田市と合わせて1万発以上の花火が打ち上げられる都内屈指の花火大会です。荒川の夏の風物詩として毎年約50万人の人出でにぎわいます。広い荒川河川敷を生かした尺玉の打ち上げやいたばし花火名物の「ナイアガラの滝」、日本を代表する花火職人による芸術玉の競演など見どころが満載で、「実力のいたばし花火」として注目を集めています。
※8月上旬開催



住みやすいまちづくり

板橋区は地域ごとの特色を生かしながら
先進的な施策を展開し
住みやすいまちづくりに取り組んでいます



赤ちゃんの駅

赤ちゃんを連れていくとき立ち寄って、オムツ替えなどに利用できるスペースで、区立保育園・児童館など158施設平成24年5月15日現在を指定しています。板橋発の「赤ちゃんの駅」は、他の自治体にも広がり、2010年度グッドデザイン・ライフスケープデザイン賞を受賞しました。



コミュニティバス「りんりんGO」

公共交通サービス水準の向上や観光・文化の振興を推進するため、赤塚・徳丸・四葉・大門・高島平地域で運行しています。「りんりんGO」が巡る地域には、数多くの文化施設や自然豊かな公園など見どころが多くあります。乗車料金は、大人210円、子ども110円。



板橋三丁目地区防災街区整備事業

板橋三丁目地区防災街区整備事業組合が、災害に強いまちづくりと住環境の向上をめざして、密集していた木造建物などを除却し、耐火構造のビルや災害に有効な道路などの整備を行いました。板橋三丁目地区には、都内初として整備事業が導入され、平成22年10月に竣工しています。

まよち



ワインブロックの街とシルバーストリート

リサイクルが難しい輸入ワインびんをはじめとするガラスびんのリサイクルに民間企業・団体などと協働で取り組んでいます。ワインびんを原料に開発した「ワインブロック」や「街のシルバーストリート」を商店街や小学校など、まちのあらゆる場所に設置しています。これらは、ワインびん独特の青や緑、茶といった色合いをそのまま生かすことができるので、まちの整備に彩りを加えています。

みどり

緑のカーテン

ゴーヤーやヘチマなどのつる植物を窓の外に這わせ、夏の強い日差しを和らげ室温の上昇を抑える「緑のカーテン」。板橋区では、平成15年度に区立板橋第七小学校で緑のカーテン作りを始めたのをきっかけに、多くの公共施設をはじめ、商店街や地域ぐるみで取り組んでいます。暑い季節になるとまちのあちこちで緑のカーテンを見ることが出来ます。



未来へつなぐ



姉妹都市提携20周年記念として平成21年8月2日、カナダ最大級のマーチングバンドが志村銀座商店街で迫力のパレードを披露

パリントン市(カナダ) 姉妹都市提携 平成元年5月12日調印

昭和60年に板橋区民まつりで「カナダフェア」を開催したことがきっかけとなり、区民ツアーやホームステイなど、区民レベルの活発な交流を行っています。また、友好のシンボルとしてパリントン市内には「板橋」という橋、板橋区内には「パリントン広場」や庁舎のものと同一「街路時計」が設置されており、それぞれ市民に親しまれています。



■ポローニヤ市(イタリア共和国)
友好都市交流協定
平成17年7月7日調印



■北京市石景山区(中華人民共和国)
友好交流・協力関係に関する合意書
平成9年10月8日調印



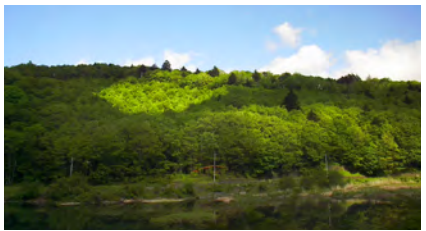
■モンゴル国文部省(モンゴル国)
文化・教育交流協定
平成8年10月19日調印



■ペナン州政府(マレーシア)
友好提携に関する共同声明
平成6年9月21日調印

金沢市(石川県)

江戸時代、板橋区内には加賀藩の広大な下屋敷があり、現在も「加賀」「金沢」といった名称が地名や学校名などで残されています。このことが縁となり、昭和54年に開催された板橋区民まつりに「豊年太鼓」「ミス百万石」が参加したのを皮切りに交流が始まりました。平成20年7月には、両都市の歴史的なつながりと約30年間にわたる友好関係が結実し、「友好交流都市協定」を締結しました。



日光市(栃木県)

日光市には「板橋の森」という森があります。この森は、昭和58年6月に締結された「みどりと文化の交流協定」の10周年を記念して誕生しました。平成23年10月には、日光市産の「木材の使用と環境教育」についての「覚書」を締結しており、緑を愛し文化を大切にする心を通わせる交流を行っています。



江戸時代、將軍家に献上した氷室の雪水に習い、湯涌温泉(金沢市)から板橋区に雪水が贈呈された



■大船渡市(岩手県)
板橋区は、東日本大震災で被害を受けた大船渡市に、物資提供や職員派遣を行うなど、復興を支援しています。平成24年6月には、こうした活動を通して築いた友好の絆を深め、文化や産業の交流を通じて両都市の発展に資することを期待して、「連携協力協定」を締結しました。

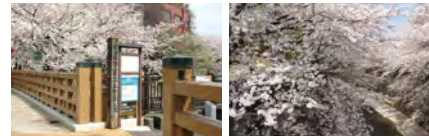
都市との交流

災害時における相互援助等協定締結自治体

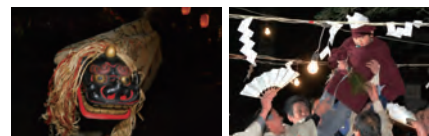
- 平成7年11月1日締結
 - 栃木県日光市(旧栗山村)
 - 千葉県鴨川市(旧天津小湊町)
 - 群馬県渋川市(旧伊香保町)
 - 茨城県かすみがうら市(旧霞ヶ浦町)
- 平成7年11月3日締結
 - 山梨県都留市
- 平成8年11月1日締結
 - 茨城県桜川市(旧岩瀬町)
 - 新潟県田上町
- 平成10年5月12日締結
 - 福島県白河市(旧東村)
- 平成14年10月22日締結
 - 山形県最上町
- 平成15年10月22日締結
 - 新潟県妙高市(旧新井市)
- 平成19年8月28日締結
 - 群馬県高崎市(旧榛名町)
- 平成20年8月27日締結
 - 群馬県沼田市



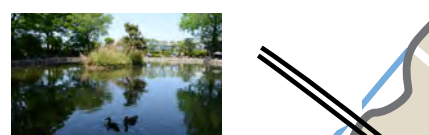
十景 板橋十景 区制70周年記念に区民公募で選定 板橋ならではの「みどころ」十選



板橋 D-3 石神井川の桜並木 D・E-3 石神井川に架かる橋。板橋の地名の由来ともいわれています 1,000本を超える桜並木が飛鳥山まで続く桜の名所



赤塚諏訪神社:田遊び B-2 徳丸北野神社:田遊び B-2 その年の五穀豊穡と子孫繁栄を祈る「予祝」の祭 赤塚諏訪神社とともに国指定重要無形民俗文化財



赤塚溜池公園周辺 A-2 3月の梅まつりでは約200本の梅が見ごろを迎えます



東京大仏(乗蓮寺) A-2 平和を祈って建立された高さ13mの青銅製の大仏



松月院 A-2 武蔵千葉氏ゆかりの由緒ある寺。高島秋帆紀功碑があります

●施設



郷土資料館 A-2 区内で出土した考古資料や歴史資料などを展示 熱帯環境植物館 B-1 東南アジアの熱帯雨林を再現。ミニ水族館もあります エコポリスセンター C-3 環境に配慮した生活の普及促進のためのコーナーや資料を展示



美術館 A-2 江戸時代の古美術、大正から昭和前期の前衛美術を展示 リサイクルプラザ C-1 ゴミ処理ゾーンとリサイクルを学べるプラザゾーンがあります



赤塚植物園 A-2 600種以上の樹木、草花がある丘陵地を活かした植物園 植村冒険館 C-2 板橋に住んだ植村直己さんの冒険精神を伝える施設 公文書館 D-3 歴史的公文書などを保存・公開。櫻井徳太郎文庫を併設



ホテル生態環境館 B-1 6月にゲンジボタル、7月にヘイケボタルが夜間特別公開 教育科学館 C-3 プラネタリウムや科学展示室があり、コンサートも開催

●公園・史跡・文化財



赤塚城跡 A-2 戦国時代の千葉氏の居城跡。中世の典型的な平山城 薬師の泉庭園 D-2 徳川吉宗に命名された清水薬師に因って造られた庭園



五本けやき C-3 川越街道工事の際、上板橋村村長が提供し残されたけやき 出井の泉跡 D-3 昔この一帯の崖から水が湧き泉となり、川の水源の一部となった跡



茂呂遺跡 C-3 昭和26年、旧石器時代の茂呂型ナイフが出土。都指定史跡 緑切榎 D-3 悪縁を切り、良縁を結ぶとされ、庶民信仰を集めています



安養院の庫裡 C-3 旧前橋藩松平家の本邸。昭和4年に当時の麹町区から移築 加賀藩前田家下屋敷跡 E-4 江戸時代にあった加賀藩前田家下屋敷跡。現在は加賀公園

対談

伝統と新しさ 心地よさを感じる 豊かなまち板橋

常識、良識、美意識をベースに「あつたらいいな」を形にする

区長 水戸岡さんの斬新であたたかいデザインは、多くの人を感動させ、世界的にも高い評価を受けていますね。どのようなことを考えながらデザインを生み出してきたのですか？

水戸岡 昔から日本にある長い歴史の中の知恵、形、色、素材などをうまく使いたいという意識があり、そこに最先端のシステムを合わせていく。こうして新しく懐かしいもの、利用者が使って心地よいと思えるものを作りたと思っています。心地よい空間をつくれれば、人間はリラックスして笑顔になり、豊かな気持ちになる。そういう時間と場所と道具をつくるのが、われわれデザイナーの仕事だと思っています。

区長 展覧会で拝見した、魚、動物、植物のポスターのリアルな表情と鮮やかな色づかいに感動しました。
水戸岡 描く対象の美しい瞬間を

工業デザイナーとして活躍し、当記念誌のデザインを手掛られた水戸岡鋭治さんをお迎えして、坂本区長と対談を行いました。デザイン、まちづくり、人材育成や、板橋区の魅力の創出などについて二人の思いを紹介します。



サービスを提供する上で重要なのは「人」の思い

区長 昨年、九州新幹線を利用しました。水戸岡さんの素晴らしいデザインを体感したことに加え、乗務員の方のサービス精神あふれる迅速な対応から仕事に対する誇りが伝わり、感銘を受けました。



水戸岡 車両の色、形、素材、外観も大事ですが、最も大切なのはサービスですね。目配り、気配り、心配りにスピード、笑顔、これが大切です。JR九州では、現場の社員が、トップの心意気をお客様に伝えるという意識が高いのです。

現場は一期一会を大切に柔軟に対応している。日々の対応の中で、いかに感動を与えるかということに十分に体現されていました。

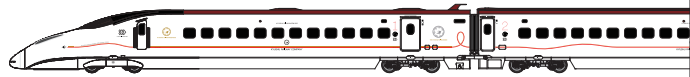
水戸岡さん は、人材育成についてどのような思いで取り組んでいますか？

水戸岡 総 合的で創造的な視点で、誠心誠意フェアプレイをしていくことをスタッフにも伝えていくつもりです。

手間暇をかけることを惜しまない。体力、気力、知力でどんな困難も乗り越えられると思っています。それをどうやって育んでいくかという、日々の研鑽しかないのです。



EIJI MITOOKA



水戸岡 鋭治(みとおか えいじ)さん

JR九州の「九州新幹線」など鉄道車両や、バス、船、駅舎などのデザインを数多く手掛け、「交通文化賞」「毎日デザイン賞」など鉄道デザインにおける数々の賞を受賞。またこれまでの業績に対して「第59回菊池寛賞」「平成23年度区民文化栄誉賞」を受賞した。(中丸町在住)

次代を担う子どもたちのために正しい選択をしたい

区長 公共のサインのあり方について、難しさを感じています。

例えば公園の看板には、キャッチボール禁止とか、ごみ捨て禁止など、禁止の看板が数多くあります。禁止の表現を変えたいと思う反面、ルールが守れない人もいるので、そこが難しいところです。

水戸岡 公共という教育は、本来は、家庭や地域で行うものです。看板がなくても、キャッチボールをし



たら、まわりのおとなが注意をすればいい。人の気配りがなくなると、看板に変わっていった。子どもが守れないのは、私たちおとなの責任なんです。仕事の意義を問われますが、最近、次の世代を担う子どもたちのためという思いが強くなりました。若いときは、美しいデザインや、売れるデザインを志したのですが、今は、可能な限りわかりやすく使いやすい、安全で安心できるデザインを追求しています。今だけを考えて出す答えと、100年後を考えた場合の答えは違うと思います。そういう意味で、手間暇がかかることも正しい選択をしたいと思っています。



伝統をもとに新しい文化を重ねてオンリーワンの魅力を創出

区長 今年は板橋区制施行80周年です。板橋区の伝統や文化、産業、自然など、その素晴らしさを区の内外に積極的に発信していきたいと思っています。今回は、記念誌と板橋区のロゴデザインを水戸岡さんにお願ひし、板橋区の魅力を新しい視点から表現していただきました。

水戸岡 板橋区には、長い歴史に培われた伝統と文化がある一方、時代の先端をいく産業技術があり、古いものと新しいものが複雑に絡んだ元気で多様性のあるまち、という印象をもっています。記念誌では、こうした特色をふまえ、板橋区が過去・現在・未来が美しく融合した魅力的なまちであることを表現してみました。

区長 今後10年20年先に向けて、板橋区がさらに発展し、発信力を高めていくために、何かアドバイスはありますか？

水戸岡 このまちは今、生きている感じがあり、やり方次第では面白くなると思います。例えば、今年、まちづくり計画を作り、それをデザイン化し、皆さんに見ていただき、意見をいただく。伝統をもとに新しい考え方を重ねて、板橋の文化と経済としての景観をつくっていくとオンリーワンの魅力が創出され、美しく、楽しく、上品なまちが生まれると思います。



TAKESHI SAKAMOTO

区長 魅力的なブランドデザインをまとめていく上で、公共コミュニケーション空間など、よい都市環境をつくるためのキーワードはありますか。

水戸岡 心と体で本当に心地良いまちがどのようなまちか？個人は質素に公共は豊かに、とか、やっぱり「心」がキーワードになる。豊かなコミュニケーションが生まれる豊かなまちが、どこまでつくれるかが重要ですね。

区長 私たちには、先人たちが築いて来られた「伝統」「文化」「地域の絆」など、「豊かな板橋」を未来へ引き継いでいく責任があります。今後、区民のみなさんと力を合わせて、豊かさを更に実感できるまちづくりを進めていきます。

坂本 健(さかもと たけし) 区長

平成19年に板橋区長に就任し、現在2期目。板橋区が「あたたかい人づくり」「元気なまちづくり」「安心・安全」において、東京で一番となることをめざし、区政経営にとりくむ。「もてなしの心」による区政を推進している。

板橋区80年のあゆみ



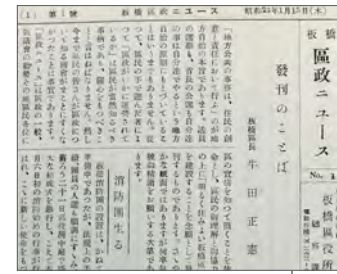
昭和43年／都営地下鉄6号線が開通



昭和41年／さよなら都電志村線



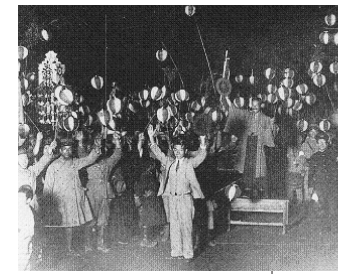
昭和33年／台風22号による被害(現本町)



昭和23年／「板橋区政ニュース」第1号



昭和7年／当時の区役所庁舎



昭和7年／板橋区誕生にわく区民

年	55	54	53	52	51	50	49	48	47	44	43	42	41	40	39	37	36	35	34	33	32	30
1980	10	5	11	8	5	4	6	7	10	4	12	4	5	4	8	12	5	5	12	9	3	8
1979	1	4	8	4	4	4	7	10	10	4	4	4	4	4	1	12	5	5	12	9	3	8
1978																						
1977																						
1976																						
1975																						
1974																						
1973																						
1972																						
1969																						
1968																						
1967																						
1966																						
1965																						
1964																						
1962																						
1961																						
1960																						
1959																						
1958																						
1957																						



昭和44年／高島平団地の建設



昭和39年／東京オリンピック聖火が板橋区を通過



昭和30年／区民会館落成



昭和25年／当時の給食の風景



昭和19年／集団疎開の様子



昭和17年／板橋区役所新庁舎が落成

- 55 ■ 区の花を「リンソウ」に決定
- 54 ■ 区内初の区立美術館が開館
- 53 ■ 第15代区長に栗原敬三が当選
- 52 ■ 第1回赤塚農業まつりを開催
- 51 ■ 首都高速5号線、北池袋・高島平間が開通
- 50 ■ 徳丸北野神社と赤塚諏訪神社の田遊びが国の重要無形民俗文化財に指定
- 49 ■ 老人いこいの家を新規開設
- 48 ■ 保健所が東京都から移管、衛生部を設置
- 47 ■ 区長公選により加部明三郎が当選
- 46 ■ 地方自治法の一部改正により、区長公選復活や原則市並みに自治権拡充
- 45 ■ 産直事業が始まる(豚肉・野菜)
- 44 ■ 高島平団地の入居が始まる
- 43 ■ 第1回区民祭りを開催
- 42 ■ 高島平団地の建設が始まる
- 41 ■ 板橋区立産業文化会館(現グリーンホール)が開館
- 40 ■ 都営地下鉄6号線(現都営三田線)栗原敬三・志村(現高島平)間が開通
- 39 ■ 板橋区立産業文化会館(現グリーンホール)が開館
- 38 ■ 区民農園を開設
- 37 ■ 板橋区役所新庁舎(旧南館)が落成
- 36 ■ 板橋区議会、第14代区長として加部明三郎を選任
- 35 ■ 環状7号線が開通
- 34 ■ 東京オリンピック聖火が板橋区を通過
- 33 ■ 板橋区役所新庁舎(旧南館)が落成
- 32 ■ 日本住宅公団蓮根団地の入居が始まる
- 31 ■ 台風22号により石神井川などがはん濫。被災者5万6千人余
- 30 ■ 板橋・上板橋地区が板橋町会連合会を発足。加盟55町会
- 29 ■ 板橋区町会連合会が発足。加盟146町会
- 28 ■ 板橋区役所新庁舎(旧南館)が落成
- 27 ■ 板橋区議会、第14代区長として加部明三郎を選任
- 26 ■ 環状7号線が開通
- 25 ■ 東京オリンピック聖火が板橋区を通過
- 24 ■ 板橋区役所新庁舎(旧南館)が落成
- 23 ■ 日本住宅公団蓮根団地の入居が始まる
- 22 ■ 台風22号により石神井川などがはん濫。被災者5万6千人余
- 21 ■ 板橋・上板橋地区が板橋町会連合会を発足。加盟55町会
- 20 ■ 板橋区町会連合会が発足。加盟146町会
- 19 ■ 板橋区役所新庁舎(旧南館)が落成
- 18 ■ 板橋区議会、第14代区長として加部明三郎を選任
- 17 ■ 環状7号線が開通
- 16 ■ 東京オリンピック聖火が板橋区を通過
- 15 ■ 板橋区役所新庁舎(旧南館)が落成
- 14 ■ 日本住宅公団蓮根団地の入居が始まる
- 13 ■ 台風22号により石神井川などがはん濫。被災者5万6千人余
- 12 ■ 板橋・上板橋地区が板橋町会連合会を発足。加盟55町会
- 11 ■ 板橋区町会連合会が発足。加盟146町会
- 10 ■ 板橋区役所新庁舎(旧南館)が落成
- 9 ■ 板橋区議会、第14代区長として加部明三郎を選任
- 8 ■ 環状7号線が開通
- 7 ■ 東京オリンピック聖火が板橋区を通過
- 6 ■ 板橋区役所新庁舎(旧南館)が落成
- 5 ■ 日本住宅公団蓮根団地の入居が始まる
- 4 ■ 台風22号により石神井川などがはん濫。被災者5万6千人余
- 3 ■ 板橋・上板橋地区が板橋町会連合会を発足。加盟55町会
- 2 ■ 板橋区町会連合会が発足。加盟146町会
- 1 ■ 板橋区役所新庁舎(旧南館)が落成

- 昭和7年10月 ■ 市郡併合により東京市板橋区が誕生。区役所を旧北豊島郡役所に開設
- 11 ■ 第1回板橋区会議員選挙(定員36名)
- 8 ■ 荒川改修および新河岸川開削工事が完成
- 7 ■ 新中山道(現国道17号)が開通
- 5 ■ 東武鉄道が常盤台住宅の分譲を開始
- 4 ■ 板橋区役所新庁舎が落成
- 3 ■ 府制を廃止し、東京都を設置。区は東京都板橋区となる
- 2 ■ 区内国民学校児童が群馬県利根郡下に集団疎開
- 1 ■ 新川越街道が区内全線開通
- 1947 ■ 大空襲により区役所、板橋駅、養育院など区内主要建物が焼失
- 1946 ■ 板橋産業協議会(現板橋産業連合会)が発足。加盟387社
- 1945 ■ 初代公選区長(第11代)に牛田正憲が当選
- 1944 ■ 地方自治法の施行により特別区となる
- 1943 ■ 六三制の実施に伴い新制中学11校が誕生
- 1942 ■ 板橋区の一部を分離し、練馬区が誕生。東京23区となる
- 1941 ■ 「板橋区政ニュース」第1号を発刊
- 1940 ■ 都内初の区立結婚相談所を開所
- 1939 ■ 埼玉県戸田町の一部(約0.2平方キロメートル)が編入
- 1938 ■ パン・脱脂ミルク・おかずの三品給食が始まる
- 1937 ■ 第2代公選区長(第12代)に渋谷常三郎が当選
- 1936 ■ 戸田町と共催で納涼花火大会を開催
- 1935 ■ 板橋区教育委員会が発足
- 1934 ■ 板橋区商店街連合会が結成。加盟44商店街、3127名
- 1933 ■ 板橋区の人口が30万人を突破
- 1932 ■ 区民会館(現区立文化会館)が落成



平成23年／東日本大震災により災害対策本部を設置



平成20年／観光キャラクター「りんりんちゃん」



平成14年／2002メートルのナイアガラの滝



平成10年／第1回東京・荒川市民マラソン



昭和61年／板橋区平和公園が落成



昭和57年／板橋区立文化会館が開館

2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2000	1999	1998	1997	1996	1995	1994	1993	1992	1991	1990	1989	1987	1986	1985	1983	1982	
24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	62	61	10	9	6	58	11
10	6	8	7	4	3	3	6	4	2	6	5	10	10	7	7	4	4	3	10	9	4	10	9	4	3	1	6	11
<ul style="list-style-type: none"> 区制施行80周年記念式典を開催 大船渡市との「連携協力協定」を締結 天皇・皇后両陛下が成増団地を訪れ、東日本大震災の被災者を見舞われる 	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災が発生。災害対策本部を設置 岩手県大船渡市への職員派遣を開始 「防災危機課」を設置するなど震災に備えて組織改正を実施 天皇・皇后両陛下が成増団地を訪れ、東日本大震災の被災者を見舞われる 	<ul style="list-style-type: none"> 「防災危機課」を設置するなど震災に備えて組織改正を実施 天皇・皇后両陛下が成増団地を訪れ、東日本大震災の被災者を見舞われる 	<ul style="list-style-type: none"> 区議会本会議のインターネット中継を開始 放課後対策事業「あいキッズ」を開始 お迎えサービス付き病児保育事業を板橋区医師会病院で開始 コミュニティバス「りんりんGO」が赤塚・徳丸地区で運行を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 観光キャラクター「りんりんちゃん」に決定 「いたばしNo.1実現プラン」を策定 石川県金沢市と「友好交流都市協定」を締結 区議会本会議のインターネット中継を開始 放課後対策事業「あいキッズ」を開始 お迎えサービス付き病児保育事業を板橋区医師会病院で開始 コミュニティバス「りんりんGO」が赤塚・徳丸地区で運行を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 人命救助の警察官、常盤台交番の故宮本警部に感謝状を贈呈 第17代区長に坂本健が当選 観光キャラクター「りんりんちゃん」に決定 「いたばしNo.1実現プラン」を策定 石川県金沢市と「友好交流都市協定」を締結 区議会本会議のインターネット中継を開始 放課後対策事業「あいキッズ」を開始 お迎えサービス付き病児保育事業を板橋区医師会病院で開始 コミュニティバス「りんりんGO」が赤塚・徳丸地区で運行を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 環状8号線全線が開通 「赤ちゃんの駅」を開始 人命救助の警察官、常盤台交番の故宮本警部に感謝状を贈呈 第17代区長に坂本健が当選 観光キャラクター「りんりんちゃん」に決定 「いたばしNo.1実現プラン」を策定 石川県金沢市と「友好交流都市協定」を締結 区議会本会議のインターネット中継を開始 放課後対策事業「あいキッズ」を開始 お迎えサービス付き病児保育事業を板橋区医師会病院で開始 コミュニティバス「りんりんGO」が赤塚・徳丸地区で運行を開始 	<ul style="list-style-type: none"> いたばしポロニーヤ子ども絵本館が開館 大気環境改善に向けた「YUMEパーク大和町」が完成 18出張所を18地域センター・6区民事務所に再編 体育施設・熱帯館などで初めて指定管理者制度を導入 「いたばし生活安全都市宣言」を行う イタリア・ポロニーヤ市と「友好都市交流協定」を締結 板橋区基本構想を議決 大山に全国ふる里ふれあいショップ「とれたて村」がオープン 	<ul style="list-style-type: none"> いたばしポロニーヤ子ども絵本館が開館 大気環境改善に向けた「YUMEパーク大和町」が完成 18出張所を18地域センター・6区民事務所に再編 体育施設・熱帯館などで初めて指定管理者制度を導入 「いたばし生活安全都市宣言」を行う イタリア・ポロニーヤ市と「友好都市交流協定」を締結 板橋区基本構想を議決 大山に全国ふる里ふれあいショップ「とれたて村」がオープン 	<ul style="list-style-type: none"> 板橋区男女平等参画基本条例を施行。板橋区自転車安全利用条例を施行 「板橋のいっぴん」に57品目を決定 「板橋のいっぴん」に57品目を決定 旧板橋第三小学校にボランティア・NPOホールを開設 首都高速王子線が開通 	<ul style="list-style-type: none"> いきいき寺子屋事業を開始 都内区市町村では初の区立公文書館を開館（櫻井徳太郎文庫を併設） 清掃事業など38事業が都から区に移管 ボランティア基金条例を制定 	<ul style="list-style-type: none"> 国際環境規格（ISO14001）を都内で初めて取得 エコポリス板橋クリーン条例を施行 エコポリス板橋クリーン条例を施行 中国北京市石景山区と「友好都市交流・協力関係に関する合意書」を調印 第1回東京・荒川市民マラソンを開催 	<ul style="list-style-type: none"> 天皇・皇后両陛下が特別養護老人ホーム「いずみの苑」をご視察 中国北京市石景山区と「友好都市交流・協力関係に関する合意書」を調印 第1回東京・荒川市民マラソンを開催 エコポリス板橋クリーン条例を施行 国際環境規格（ISO14001）を都内で初めて取得 ボランティア基金条例を制定 清掃事業など38事業が都から区に移管 都内区市町村では初の区立公文書館を開館（櫻井徳太郎文庫を併設） いきいき寺子屋事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 「いたばし健康福祉都市宣言」を行う 「いたばし健康福祉都市宣言」を行う モンゴル国文部省と「文化・教育交流協定」を調印 板橋区個人情報保護条例を施行。板橋区ボランティア活動推進条例を施行 天皇・皇后両陛下が特別養護老人ホーム「いずみの苑」をご視察 中国北京市石景山区と「友好都市交流・協力関係に関する合意書」を調印 第1回東京・荒川市民マラソンを開催 エコポリス板橋クリーン条例を施行 国際環境規格（ISO14001）を都内で初めて取得 ボランティア基金条例を制定 清掃事業など38事業が都から区に移管 都内区市町村では初の区立公文書館を開館（櫻井徳太郎文庫を併設） いきいき寺子屋事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 「エコポリス板橋環境都市宣言」を行う 「エコポリス板橋環境都市宣言」を行う 「交通安全都市宣言」を行う 「交通安全都市宣言」を行う マレーシア・ペナン植物園と「友好提携に関する共同声明」を調印 板橋区立エコポリスセンターが開設 「いたばし健康福祉都市宣言」を行う モンゴル国文部省と「文化・教育交流協定」を調印 板橋区個人情報保護条例を施行。板橋区ボランティア活動推進条例を施行 天皇・皇后両陛下が特別養護老人ホーム「いずみの苑」をご視察 中国北京市石景山区と「友好都市交流・協力関係に関する合意書」を調印 第1回東京・荒川市民マラソンを開催 エコポリス板橋クリーン条例を施行 国際環境規格（ISO14001）を都内で初めて取得 ボランティア基金条例を制定 清掃事業など38事業が都から区に移管 都内区市町村では初の区立公文書館を開館（櫻井徳太郎文庫を併設） いきいき寺子屋事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 冒険家・植村直己を顕彰する植村冒険館を開館 区制施行60周年記念式典を開催。図説板橋区史を刊行 「エコポリス板橋環境都市宣言」を行う 「交通安全都市宣言」を行う マレーシア・ペナン植物園と「友好提携に関する共同声明」を調印 板橋区立エコポリスセンターが開設 「いたばし健康福祉都市宣言」を行う モンゴル国文部省と「文化・教育交流協定」を調印 板橋区個人情報保護条例を施行。板橋区ボランティア活動推進条例を施行 天皇・皇后両陛下が特別養護老人ホーム「いずみの苑」をご視察 中国北京市石景山区と「友好都市交流・協力関係に関する合意書」を調印 第1回東京・荒川市民マラソンを開催 エコポリス板橋クリーン条例を施行 国際環境規格（ISO14001）を都内で初めて取得 ボランティア基金条例を制定 清掃事業など38事業が都から区に移管 都内区市町村では初の区立公文書館を開館（櫻井徳太郎文庫を併設） いきいき寺子屋事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 第16代区長に石塚輝雄が当選 冒険家・植村直己を顕彰する植村冒険館を開館 区制施行60周年記念式典を開催。図説板橋区史を刊行 「エコポリス板橋環境都市宣言」を行う 「交通安全都市宣言」を行う マレーシア・ペナン植物園と「友好提携に関する共同声明」を調印 板橋区立エコポリスセンターが開設 「いたばし健康福祉都市宣言」を行う モンゴル国文部省と「文化・教育交流協定」を調印 板橋区個人情報保護条例を施行。板橋区ボランティア活動推進条例を施行 天皇・皇后両陛下が特別養護老人ホーム「いずみの苑」をご視察 中国北京市石景山区と「友好都市交流・協力関係に関する合意書」を調印 第1回東京・荒川市民マラソンを開催 エコポリス板橋クリーン条例を施行 国際環境規格（ISO14001）を都内で初めて取得 ボランティア基金条例を制定 清掃事業など38事業が都から区に移管 都内区市町村では初の区立公文書館を開館（櫻井徳太郎文庫を併設） いきいき寺子屋事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 区初の特別養護老人ホーム「みどりの苑」が落成 カナダ・バーリントン市との「姉妹都市提携」を調印 板橋区役所新庁舎（現北館）が落成 板橋区平和公園が落成 国勢調査で初めて人口が50万人を超える 埼京線開通により浮間舟渡駅が開業 情報公開制度がはじまる 第1回赤塚梅まつりを開催 「板橋区平和都市宣言」を行う 「板橋区平和都市宣言」を行う 「交通安全都市宣言」を行う マレーシア・ペナン植物園と「友好提携に関する共同声明」を調印 板橋区立エコポリスセンターが開設 「いたばし健康福祉都市宣言」を行う モンゴル国文部省と「文化・教育交流協定」を調印 板橋区個人情報保護条例を施行。板橋区ボランティア活動推進条例を施行 天皇・皇后両陛下が特別養護老人ホーム「いずみの苑」をご視察 中国北京市石景山区と「友好都市交流・協力関係に関する合意書」を調印 第1回東京・荒川市民マラソンを開催 エコポリス板橋クリーン条例を施行 国際環境規格（ISO14001）を都内で初めて取得 ボランティア基金条例を制定 清掃事業など38事業が都から区に移管 都内区市町村では初の区立公文書館を開館（櫻井徳太郎文庫を併設） いきいき寺子屋事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 区制施行50周年記念式典を開催。区民憲章を制定 栃木県栗山村（現日光市）と「みどりと文化の交流協定」を締結 地下鉄有楽町線・池袋〜成増間が開通 「板橋区平和都市宣言」を行う 「板橋区平和都市宣言」を行う 「交通安全都市宣言」を行う マレーシア・ペナン植物園と「友好提携に関する共同声明」を調印 板橋区立エコポリスセンターが開設 「いたばし健康福祉都市宣言」を行う モンゴル国文部省と「文化・教育交流協定」を調印 板橋区個人情報保護条例を施行。板橋区ボランティア活動推進条例を施行 天皇・皇后両陛下が特別養護老人ホーム「いずみの苑」をご視察 中国北京市石景山区と「友好都市交流・協力関係に関する合意書」を調印 第1回東京・荒川市民マラソンを開催 エコポリス板橋クリーン条例を施行 国際環境規格（ISO14001）を都内で初めて取得 ボランティア基金条例を制定 清掃事業など38事業が都から区に移管 都内区市町村では初の区立公文書館を開館（櫻井徳太郎文庫を併設） いきいき寺子屋事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 区制施行50周年記念式典を開催。区民憲章を制定 栃木県栗山村（現日光市）と「みどりと文化の交流協定」を締結 地下鉄有楽町線・池袋〜成増間が開通 「板橋区平和都市宣言」を行う 「板橋区平和都市宣言」を行う 「交通安全都市宣言」を行う マレーシア・ペナン植物園と「友好提携に関する共同声明」を調印 板橋区立エコポリスセンターが開設 「いたばし健康福祉都市宣言」を行う モンゴル国文部省と「文化・教育交流協定」を調印 板橋区個人情報保護条例を施行。板橋区ボランティア活動推進条例を施行 天皇・皇后両陛下が特別養護老人ホーム「いずみの苑」をご視察 中国北京市石景山区と「友好都市交流・協力関係に関する合意書」を調印 第1回東京・荒川市民マラソンを開催 エコポリス板橋クリーン条例を施行 国際環境規格（ISO14001）を都内で初めて取得 ボランティア基金条例を制定 清掃事業など38事業が都から区に移管 都内区市町村では初の区立公文書館を開館（櫻井徳太郎文庫を併設） いきいき寺子屋事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 区制施行50周年記念式典を開催。区民憲章を制定 栃木県栗山村（現日光市）と「みどりと文化の交流協定」を締結 地下鉄有楽町線・池袋〜成増間が開通 「板橋区平和都市宣言」を行う 「板橋区平和都市宣言」を行う 「交通安全都市宣言」を行う マレーシア・ペナン植物園と「友好提携に関する共同声明」を調印 板橋区立エコポリスセンターが開設 「いたばし健康福祉都市宣言」を行う モンゴル国文部省と「文化・教育交流協定」を調印 板橋区個人情報保護条例を施行。板橋区ボランティア活動推進条例を施行 天皇・皇后両陛下が特別養護老人ホーム「いずみの苑」をご視察 中国北京市石景山区と「友好都市交流・協力関係に関する合意書」を調印 第1回東京・荒川市民マラソンを開催 エコポリス板橋クリーン条例を施行 国際環境規格（ISO14001）を都内で初めて取得 ボランティア基金条例を制定 清掃事業など38事業が都から区に移管 都内区市町村では初の区立公文書館を開館（櫻井徳太郎文庫を併設） いきいき寺子屋事業を開始 								



平成23年／被災者を見舞われる天皇・皇后両陛下



平成23年／岩手県大船渡市へ職員派遣



平成14年／ボランティア・NPOホールを開設



冒険家・植村直己 写真提供／文藝春秋



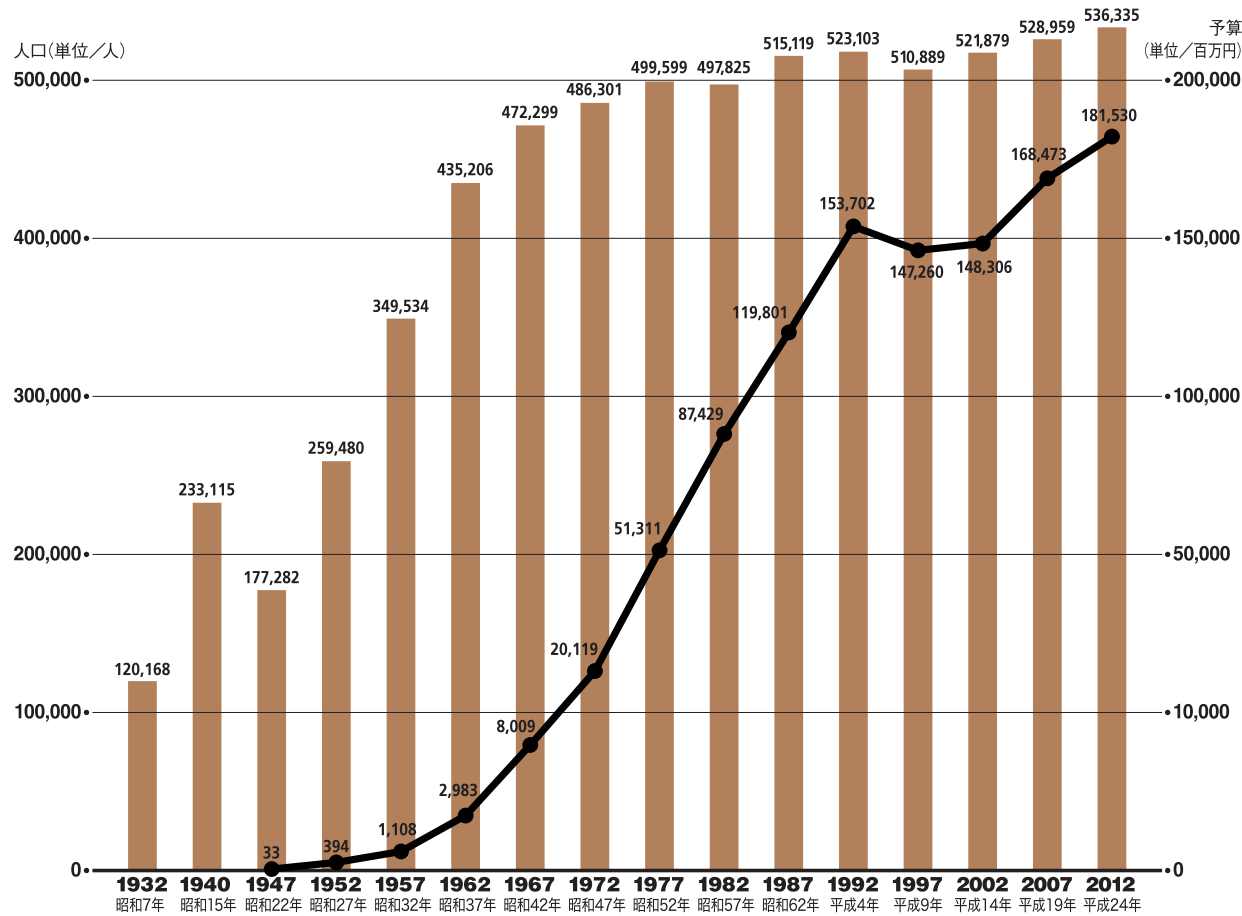
平成2年／区初の特別養護老人ホーム「みどりの苑」



昭和58年／地下鉄有楽町線が開通

80 板橋区80年の人口と予算の推移

■ 人口／各年10月1日時点、平成24年は4月1日時点
 ● 予算／一般会計歳出決算額(平成24年度の額は、当初予算額) 単位:百万円(十万円単位で四捨五入)
 昭和7年度の一般会計歳出決算額は、23万989円54銭)



TOP3 板橋区のトップ3



工業

(工業統計調査 平成20年/全数調査)



農業

(板橋区農業経営実態調査報告書 平成23年8月1日)



駅

(1日平均 平成22年度)

■ 業種別の製造品出荷額等

■ 野菜生産量

■ 区内駅の乗車人員

1位	印刷・同関連業 3,097 億円	ダイコン 66,173 kg	JR埼京線板橋駅 29,871 人
2位	業務用機械器具製造業 988 億円	ジャガイモ 34,735 kg	東武東上線東武練馬駅 29,608 人
3位	鉄鋼業 796 億円	キャベツ 20,451 kg	東武東上線成増駅 29,199 人



■ 板橋区の基本データ (平成24年4月1日現在)

面積	32.17 km ²
位置	東経 139度37分 から同 44分 北緯 35度43分 から同 48分
海拔	最高地点 約 35 m (徳丸変電所付近) 最低地点 約 2 m (荒川と新河岸川に挟まれた地点)
世帯数	279,323 世帯 (うち外国人 9,771世帯)
人口	全体 536,335 人 (うち外国人 17,052人) 男性 266,266 人 (うち外国人 7,621人) 女性 270,069 人 (うち外国人 9,431人)

数字で見る板橋区

No.1 板橋区のNo.1

印刷・同関連業の製造品出荷額等 (工業統計調査 平成20年/全数調査)	3,097 億円	全国1位
工業全体の製造品出荷額等 (2010東京の工業 従業者4人以上)	5,532 億円	23区中1位
病院・一般診療所の病床数 (東京都福祉保健局「福祉・衛生統計年報 平成22年度」,「同 平成21年度」)	9,846	23区中1位

1日 板橋区の1日 (年間の件数などを365で割った数字 平成22年)

出生届出件数	11.9 人
婚姻届出件数	10.1 件
転入届出件数	82.9 人
転出届出件数	84.2 人
死亡届出件数	12.7 人